

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10647001				
授業名	経済政策論	形態	講義	単位	2
担当教員	松野 由希				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	火曜4限		
授業目的	日本で採用されている経済政策を経済学の基礎理論に基づいて評価し、その改革の方向性を考えられるようにする。				
授業内容	教科書に基づきながら、経済政策論の基本的な考え方を学ぶ。前半では、ミクロ経済学をもとに市場の失敗の補正や公共財の供給を学ぶ。後半では、マクロ経済学をもとに金融政策と財政政策について学び、所得再分配政策について理解を深める。そして経済政策の改革の方向性を考える。その際にはアクティブラーニングの手法を用いる。 学生の理解に応じて授業の進捗は変わる。 ミクロ経済学・マクロ経済学を履修するとより理解が深まる。				
到達目標	経済政策論を学ぶことで、政府の行う政策に対して経済学的なロジックに基づいて考えることができ、評価する姿勢を身につけることを目指す。 授業内試験では上記の点について問う。				
ディプロマポリシーとの関連性	<コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。				
授業形態	講義形式を中心とした授業の中にアクティブラーニングの手法を取り入れる。1回目の授業で少人数のグループを作る。授業の中で設定する課題に対して、グループワークを行う。時には発表も求める。教科書を元に経済政策論の考え方を理解する。各自、ノートを用意し、板書した内容を書き留めること。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間（2時間×1コマ×15週）＋事前事後60時間（第1～15回目授業までの総合計）				
テキスト	岩田規久男・飯田泰之(2014)『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞出版社				
評価方法	発表内容（回数・内容について教員が点数化）、レポート、授業内試験により評価する。				
評価基準	発表内容20点、レポート10点、授業内試験70点				
試験・レポート等のフィードバック	授業内試験、レポートについては、次回以降の授業で返却・解説等を行う。				
注意事項及び履修条件	予習・復習を欠かさないこと。試験規定に基づく。 ミクロ経済学・マクロ経済学を履修することを強く推奨する。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	最近の経済政策について興味のあることを書きだしてみる。
授業内容	イントロダクションを行う。シラバスの内容を確認する。
事後学習	イントロダクションの内容を確認し、経済政策の概要をまとめる。
参考文献	

第2回	
事前学習	教科書の該当章を読み、経済学のキーワードについて確認をする。
授業内容	第1章「経済学と経済政策の基礎理論」 経済政策のために必要となる基本的な経済学について理解する①
事後学習	経済学のキーワードについてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第3回	
事前学習	教科書の該当章を読み、余剰概念について確認をする。
授業内容	第1章「経済学と経済政策の基礎理論」 経済政策のために必要となる基本的な経済学について理解する②
事後学習	余剰概念についてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第4回	
事前学習	教科書の該当章を読み、市場への政府介入のパターンについて確認をする。
授業内容	第2章「市場への政府介入」 市場への政府介入による余剰の変化について理解する。
事後学習	市場への政府介入による余剰の変化についてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第5回	
事前学習	教科書の該当章を読み、自然独占とそれに対する経済的規制について確認をする。
授業内容	第3章「公益事業と競争政策」 自然独占市場の経済政策について理解する。望ましい政策について考えることができるようになる。
事後学習	自然独占とそれに対する経済的規制についてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第6回	
事前学習	教科書の該当章を読み、外部不経済の内部化について確認をする。
授業内容	第4章「外部性と公共財」 公共財の供給についての仕組みを理解する。望ましい政策について考えることができるようになる。
事後学習	外部不経済の内部化についてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第7回	
事前学習	授業内容を振り返り、「まとめプリント」を作成すること。
授業内容	経済学の基礎理論に基づいた経済政策の理解を問う授業内試験を実施する。また、試験の解説および振り返りを行う。
事後学習	授業内試験の内容を振り返り、復習すること。
参考文献	

第8回	
事前学習	教科書の該当章を読み、成長理論について確認をする。
授業内容	第6章「成長政策の理論と課題」 経済成長のメカニズムを理解し、そのための経済政策を確認する。
事後学習	成長理論についてまとめる。これまで学んだことを整理しよう。
参考文献	

第9回	
事前学習	教科書の該当章を読み、IS分析について確認をする。
授業内容	第7章「安定化政策の基礎と財政・金融政策」 IS-LM分析を理解する①財政出動などの政策に対して理解をすることができる。
事後学習	IS分析についてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第10回	
事前学習	教科書の該当章を読み、LM分析について確認をする。
授業内容	第7章「安定化政策の基礎と財政・金融政策」 IS-LM分析を理解する②マイナス金利政策など、日銀のとる政策に対して理解をすることができる。
事後学習	LM分析についてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第11回	
事前学習	教科書の該当章を読み、所得再分配政策の基本的な考え方について確認をする。
授業内容	第10章「所得再分配政策の基礎理論」 所得再分配政策の基本的な考え方について理解する。
事後学習	所得再分配政策の基本的な考え方についてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第12回	
事前学習	教科書の該当章を読み、課税の考え方について確認をする。
授業内容	第11章「税制の効率性と公平性」 課税の考え方について理解する。消費税の延期や軽減税率などの問題について考えることができるようになる。
事後学習	課税の考え方についてまとめる。教科書の練習問題を解き、復習を行う。
参考文献	

第13回	
事前学習	教科書の該当章を読み、今の年金・医療制度の問題点について確認をする。
授業内容	第12章「年金と医療政策」 世代間の所得再分配と経済政策について理解する。今の年金・医療制度をどのように変えていくのが いいか考えることができるようになる。
事後学習	今の年金・医療制度の問題点についてまとめ、解決策を検討する。教科書の練習問題を解き、復習を

	行う。
参考文献	

第14回	
事前学習	授業内容を振り返り、「まとめプリント」を作成すること。
授業内容	経済学の基礎理論に基づいた経済政策の理解を問う授業内試験を実施する。また、試験の解説および振り返りを行う。
事後学習	授業内試験の内容を振り返り、復習すること。
参考文献	

第15回	
事前学習	これまで学んだことを項目立てて整理し、解説を加えたレポートを作成する。
授業内容	試験の解説および経済学の基礎理論に基づいた経済政策の振り返り
事後学習	授業内容を振り返り、第15回目の事前学習で作成したレポートを修正すること。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><コDP-2> 【コミュニティ政策学分野における知識・技能・態度】 コミュニティ政策学に関する考え方及び基礎知識・技能を体系的に理解し、地域がもつ課題の解決にあたる意欲、能力を身に付けている。</p> <p><コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。</p> <p><コDP2-(2)> 講義科目で学んだ専門的な知識とサービスラーニング活動を通じて得た実践的な経験を統合し、課題解決に必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p><コDP2-(3)> 地域社会の多様な場において、コミュニティ形成の中核を担う職業人としての態度・志向性を持っている。</p>
-----------	---